

施策	37 効果的・効率的な行政運営の推進		
事業名	政策推進事業	担当課	政策企画課

## 事業の概要

目標対象者概要	魅力あるまちづくりを持続的に推進するため、高度化複雑化する行政需要への対応に加え、人口減少、少子高齢化などの行政課題にも的確に対応し、市政の状況、課題、施策の方向性などについて、各部署が共通認識を持って推進する仕組みづくりを進める。
---------	--

## 指標の推移

事業の指標		単位	H28	H29	H30	H31	H32
1	市政全般への不満足度	%	予	22.0	21.9		
			実	22.6			
2	地域を担う人材数(南花台スマートエイジング・シティ事業)	人	予	50	80		
			実	74			
3	-		予				
			実				

## 事業の評価

指標の状況	市政全般への不満足度については減少していないことから、更なる行政課題への的確な対応が求められている。 「南花台スマートエイジング・シティ」団地再生モデル事業では、地域において活発な活動が生まれており、その活動も多様化していることから、まちづくりを支える多くの人材が新たに生まれている。
総合評価	「南花台スマートエイジング・シティ」団地再生モデル事業においては、「開発団地再生モデルの構築」として、「誰でも、いつでも訪れやすい、多世代の交流が生まれる拠点」のあり方を検証しながら、急激な高齢化が進む開発団地に必要となる多様な生活支援を創出するため、介護予防や生活支援の仕組み構築等に取り組んだ。 また、「南花台地域の生活拠点化」として、学校法人阪和学園錦秀会看護専門学校の誘致に向けた調整や、UR南花台団地集約型団地再生事業の事業開始決定に向けた調整、南花台商店会(仮)の立上げに向けた調整を行った。
今後の方向性	拡充 「南花台スマートエイジング・シティ」団地再生モデル事業については、「開発団地再生モデルの構築」として、地域住民・事業者・学校との連携により地域が自立し、プロジェクトを将来にわたり、継続することができるまちの仕組みを構築し、他の地域へまちづくりのモデルとして広げていく。 また、「南花台地域の生活拠点化」を目指し、新たに設置される看護専門学校や商店会(仮)との連携を創出し、UR団地集約事業を通じ、新たな機能と住民を呼び寄せ、南花台地区の生活拠点化を目指す。

## 事業費(決算額)・財源

		H28当初予算	H28決算	H27決算	増減
事業費(決算額) (千円)		981	38,998	32,733	6,265
財源内訳	一般財源 (千円)		1,098	2,802	-1,704
	国府支出金 (千円)		37,900	29,931	7,969
	地方債 (千円)		0	0	0
	その他特定財源 (千円)		0	0	0